

病害虫防除所情報 第2号

令和7年5月14日
山梨県病害虫防除所

【果樹カメムシ類の防除対策について】

〔発生状況及び今後の見通し〕

ア 定点調査ほ場におけるフェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数は、甲州市で平年並、南アルプス市では多い。(図1)。

イ 気象庁5月8日発表、向こう1か月予報によると、気温は高く、降水量は多い見込み。

ウ 5月上旬から県内各地のほ場で越冬成虫が確認されており、今後モモやオウトウの幼果への吸汁害が懸念される。(写真1)

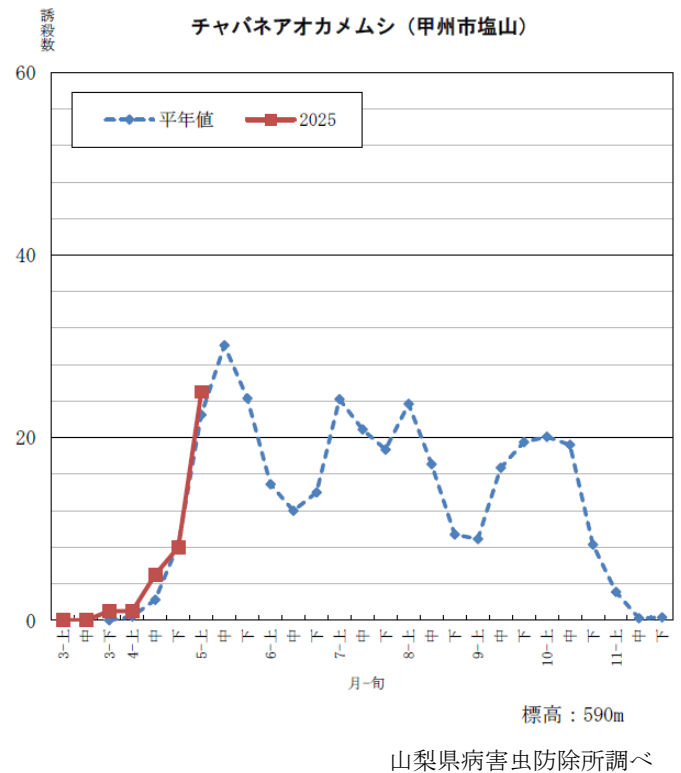
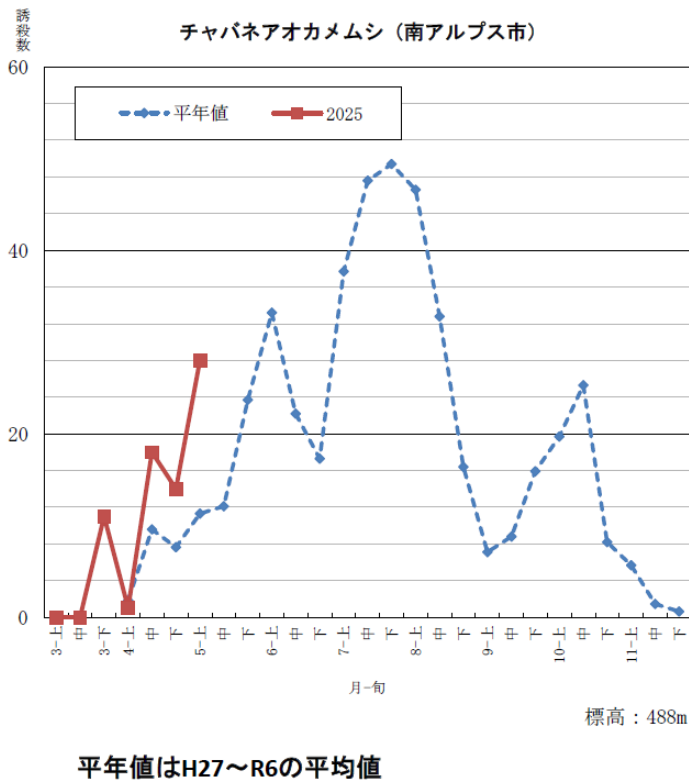


図1 令和7年のフェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺数



写真1 モモ、オウトウの幼果期における吸汁害の様子

〔防除対策〕

- (1) 果樹カメムシ類は山間部から果樹園へ飛来する。飛来量は地域やほ場によって差があるので、カメムシの動きの鈍い早朝または果樹園への飛来が多い夕方に園を見回り、発生状況を確認する。
- (2) カメムシは集合フェロモンを出して次々と集まる習性があるため、低密度時に地域で一斉防除を行うことが効果的である。
- (3) 防除薬剤は表1を参照し、薬剤散布にあたっては登録内容を厳守し、飛散防止対策を徹底する。
- (4) 有袋栽培は吸汁被害を抑制する効果があるため、袋かけを遅れないように実施する。また、果実と袋が密着すると袋の上からも加害されるため、果実と袋の大きさのバランスに留意する。

表1 カメムシ類に登録のある主な農薬

分類	R A C	薬剤名	適用作物名						
			希釈倍率、使用時期／本剤の使用回数						
			スモモ	モモ ネクタリン	オウトウ	ブドウ	カキ	ナシ	リンゴ
合成ピレスロイド系	3A	テルスターフロアブル	※ 3000 倍 前日まで／2 回以内	3000 倍 前日まで／2 回以内	4000 倍 前日まで／2 回以内	—	3000 倍 3日前まで／ 2回以内	3000 倍 前日まで／2 回以内	3000 倍 前日まで／1 回以内
	3A	アディオン乳剤	—	2000 倍 7日前まで／ モモは6 回以内 ネクタリン は3回以内	—	—	2000 倍 7日前まで／ 5回以内	2000 倍 前日まで／2 回以内	—
ネオニコチノイド系	4A	スタークル／ アルバリン 顆粒水溶剤	※ 2000 倍 前日まで／3 回以内	2000 倍 前日まで／3 回以内	2000 倍 前日まで／2 回以内	2000 倍 前日まで／3 回以内	2000 倍 前日まで／3 回以内	2000 倍 前日まで／3 回以内	2000 倍 前日まで／3 回以内

スモモなど果実汚染、果粉溶脱が懸念される樹種では薬剤選択には注意する。

※小粒核果類登録。